

4世明正小第 140号
令和5年3月 1日

世田谷区教育委員会

学 校 名 世田谷区立明正小学校
校 長 名 栗 林 大 輔

令和5年度教育課程について（届）

教育基本法、学校教育法その他法令及び学習指導要領に従うとともに、世田谷区立学校管理運営規則等を踏まえ、令和5年度教育課程を編成しましたのでお届けします。

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

明正小学校の建学の精神であり、校名の由来である「明るく 正しく たくましく」から次の目標を設定する。

○明るい子ども ○正しい子ども ○たくましい子ども

(2) 学校の重点目標

- 「自分の個性を理解し、自己実現を図ろうとする『明るい子ども』」を育てるために、探究的な学びを通して課題を把握し、解決の見通しをもって取り組む力を養う。
- 「学校生活・社会生活を創る『正しい子ども』」を育てるために、挨拶の励行と規範意識・情報モラルの醸成を通して豊かな人間関係を築くことを重視する。
- 「力を合わせて達成する『たくましい子ども』」を育てるために、多様な他者のよさを理解し、協働して解決しようとする態度を養うとともに、心身の健康づくりを進める。

(3) 学校の教育目標及び重点目標を達成するための基本方針

◎ 「キャリア・未来デザイン教育」の実現

自分のよさを理解し、自分の将来を考え、予測困難なこれからの社会を担うための課題解決能力やコミュニケーション力、チャレンジ精神を養う。持続可能な開発目標(SDGs)の視点から、成城三丁目緑地や砦の学び舎、地域人材を活用し、児童の主体的・実践的・創造的な活動を展開し、社会参画を促す。地域での活動を通じた社会への働きかけから、変化や改善の成就感・達成感をもたせる。

第1表の2

児童の問題意識や追究意欲が高まる教材から、自ら課題を見出し、解決するための計画・方法を考え、他者と共感・協働し、自己の学びを振り返り次へつなげる探究的な学びのサイクルを確立し、生涯学び続けるための基盤を養う。

□思考ツールの活用

◎ 教育DXの推進

デジタル技術を活用し、児童が「分かる授業」「意欲を高める授業」を実現する。1人1台端末を文房具の一つと捉え、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力等や学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度を育成するために指導の個別化と学習の個性化を図り、個別最適な学びを推進する。教師と児童の関わり合いや児童同士の関わり合い、地域や専門家との交流等、多様な他者との協働によりよい学びを生み出す協働的な学びの充実を図る。

◎ 多様な個性がいかされる教育の推進

全教育活動を通して、人権尊重の精神を正しく理解させる。規範意識や思いやりの心を身に付けさせるとともに、ひまわり学級との交流や各教科等において人権課題を取り上げ、多様性を尊重する精神を育む。児童が自分のよさや可能性を認識するとともに、他者を価値ある存在として捉え、協働して課題解決を図る資質・能力を育成する。特別支援教育コーディネーターや特別支援教室担当教諭を中核に、個別指導計画及び連携型教育支援計画を作成し、個々の教育的ニーズに応じた教育の充実を図る。ふれあい月間アンケートやQ-U調査を活用し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応及び不登校の未然防止に努める。長期欠席児童へはスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関連機関等と連携し、自宅訪問や連絡を継続的に行い、登校を促す。